

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

12月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。

2020.2.20 No.84

特集

グラウンドゴルフを 楽しむシニア × 市議会



MENU

特集	P 2
議会報告会	P 4
こんなことを審査・調査しました	P 6
こんなことを聞きました	P 9
Future	P20



ホールインワンを出したときの気持ちは、快感です

今まで関心が無かったが、今回のインタビューで身近に感じました



グラウンドゴルフとは
 ボールをスティックで打ってホールに入れるだけの簡単で親しみやすいスポーツです。プレイヤー自身が審判を兼ねるなど、人を尊重するスポーツと言われていいます。長さが異なるコース全8ホールでプレーします。
 <那須塩原市グラウンドゴルフ協会：会員数 329 名>

<グラウンドゴルフを始めたきっかけは？>
 ◆シルバー大学のクラブ活動がきっかけです。また、シルバー大学の仲間を誘ってやり始めた人も多くいます。
 ◆西那須野地区では、自治会の老人会がきっかけで近所の人を誘い楽しむようになりました。
 ◆ゲートボールをやっていた方々を誘って仲間が増えて、色々な誘いがあったのがきっかけです。

<練習はどれくらいしますか？>
 ◆週に2～3回という人や、中にはグラウンドゴルフが生きがいとなっていて、毎日練習するほど熱

心な人もいます。

<どんな大会がありますか？>
 ◆例えば、市内大会の他に県知事杯などがあります。県大会になると、会場的那珂川河畔公園に約800人の選手が集まりプレーします。

<グラウンドゴルフの健康への効果は？>
 ◆1ラウンドで約4,000歩を歩くので運動不足解消につながり、健康管理に非常に役立っています。
 ◆ロコモティブシンドローム※に効果的と言われています。また、

スコアを書くことによって認知機能の維持にも役立つと思います。
 ◆インシュリン投与が必要でなくなるほど体調が良くなりました。

<ホールインワンを達成したときの気持ちは？>
 ◆50mと距離の長いホールで達成したときは快感です。

<みなさんの自慢は何ですか？>
 ◆北関東大会で3位に入賞することが出来ました。
 ◆指導員資格研修大会で2位になったことです。
 ◆32ホール回中で7回もホールインワンを達成したことです。

◆和歌山国体に出場したことです。

<グラウンドゴルフの魅力について教えてください>
 ◆夏と冬で芝の長さが変わるので苦労しますが、それを攻略するには経験が必要で、思い通りには行かないことも多いです。練習も大切ですが、運も味方にしないと良いスコアが出ないのも魅力です。
 ◆上手い人や、ホールインワンを達成した人ばかりが勝てる競技ではないのが良いところです。
 ◆ラウンド終了後の楽しい時間を過ごすことも魅力です。
 ◆練習や大会の成績も大切です

が、練習後の仲間との交流が一番の楽しみです。
 ◆女性はおしゃれをしてプレーすることが楽しみです。
 ◆道具にもこだわり、自分に合ったクラブを見つけ出すことも楽しみです。

<市議会議員のイメージは？>
 ◆傍聴に行ったことがありますが、あまりよくわからなかったのでイメージが湧いてきません。
 ◆今まで関心がありませんでしたが、今回のインタビューで身近に感じる事が出来ました。
 ◆若い議員が頑張ってくれているので希望が持てます。

なしおふれあいトーク

議会報告会および意見交換会

第13回議会報告会の概要

今回の議会報告会は、5班体制とし、5会場において開催しました。第1部の議会報告では、6月、9月定例会の報告や各特別委員会の報告を行いました。また、第2部の意見交換では、全会場の共通テーマの他、各会場ごとに地域に関するテーマを設定し、市民の皆さまと市議会議員が意見交換を行いました。

共通テーマ “新庁舎について”

1. 場所に関するもの

- 駅前につくる必要があるのか。ブリチストン工場跡地を検討してはどうか。
- 場所がほぼ決定されているのであれば、次に設計となるが、市民（代表・パブリック）等の意見を十分に聞いて進むべきである。
- 建築物の高さ制限が庁舎建設のネックである。
- 景観を残してほしい。（那須連山が見えた方がいい）

2. 利便性について

- 障害者や生活弱者の意見を実際に聴取し、ユニバーサルデザインを意識した施設にしてほしい。
- 市民の利便性を重視し、ソフト面（子連れでも行きやすく、多世代で利用できる交流スペース等）も高めていただきたい。
- 市役所建設は、そこで働く職員の職場環境を第一に考えるべき。
- 災害があった場合、避難所になるような機能もあってほしい。
- テナントを入れて稼げる市役所にしては。
- 駐車場をできるだけ確保し、十分な駐車スペースも確保してほしい。
- 市役所にカフェスペースや展望台、イベント広場をつくってほしい。

3. その他

- 県北（広域）の観光や産業の窓口機能を持ったハブ的庁舎にしてほしい。
- 文化会館やコンベンションセンターを併設しては。新幹線の駅前という立地環境を考えると、間違いなく賑わいを生む起爆剤になる。
- 庁舎だけが立派ではもったいない、周囲のまちづくりと一体に考えてほしい。

その他の意見

議会報告会への意見

- 地域ごとに意見交換会をやってほしい。
- 新庁舎建設について議会は確固たるビジョンはないのか。報告会に出ているが、そのあとがどうなっているかが見えない。
- 意見交換会の結果をどのように議会に反映させようとしたのかを地区向けに報告書を出してほしい（地区別に作る）。議会だよりだけにとどまらないで。

那須塩原市議会への意見

- 皆の意見を伝えるのが議会の役割。
- 市議会としての決まったビジョンはあるのか。市民がわかりやすいビジョンを持ってほしい。執行部から出てきたものでしか審議していない。
- まちづくりについて議員のネットワークで意見を聞いたり、ディスカッションがやれるのでは。

会場ごとのテーマ



1班 “厚崎地区の課題とは？”

- 国体道路（ヨークベニマル交差点付近）、唐杉街道が大変に渋滞している。議会で取り上げて県に要望してほしい。
- 地域の横のつながりが弱い。（各世代の連携がとれない）
- 厚崎公民館が避難所になったが、避難者がわかるようにすべき。（連絡方法を確認すべき）



2班 “クールなすしおばら～那須塩原市の魅力を発掘しよう!!～”

- 災害に強く安全なまちである。
- 四季折々の素晴らしい景色と多様な泉質の温泉、特産品がある。（牛乳、牛肉、乳製品、野菜）
- 人柄が良い。（各地を経て移住した実感）
- 海外交流などグローバルなところ。
- 高校進学の際に選択肢がたくさんある。

3班 “生きがいのある高齢者社会づくりを考えよう”

- 高齢者と子供と一緒にいられる場所があれば良い。
- 遊休農地を活用して高齢者の居場所をつくる。
- 高齢者が運転免許を返納しても気軽に出かけられる交通網を整備する。
- 隣近所の集合場所を作る。
- 生きがいサロンで健康体操やエンディングノートの書き方、旅行などを実施している。地域助け合い運動を強化すべき。



4班 “那須塩原駅前活性化について”

- 駅前に人が集まる仕組みづくりをしてほしい。（特に若い世代とシニア。）
- 駅前から那須など観光地までの交通アクセスを良くしてほしい。
- 駅に観光案内や標高の表示、那須連峰の案内などが有ると良い。
- 小さな公園に遊具を設置してほしい。
- 駅前にオシャレなカフェが出来ると良い。

5班 “防災の在り方について”

- 防災教室（小中学校）を充実させる。（釜石の奇跡を見習う）
- 小学校高学年・全中学生に心肺蘇生法とAEDの使い方を教える。
- 避難所エリアごとに行う避難訓練への補助金支給を要望する。
- 那須水害の教訓が生きているのか。どう改善されているのか知りたい。
- 災害時の連絡網など周知の仕方に工夫がほしい（エリアメールや避難所開設の情報など）。また、みるメールの外国語バージョンも必要ではないか。



こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
【委員】◎佐藤一則○星野健二、平山武、大野恭男、櫻田貴久、伊藤豊美、齋藤寿一、金子哲也、中村芳隆

公の施設が利用料金制度になり、使用料は指定管理者に全額入るようになります

問 指定管理施設における利用料金制度※の収益に係る考え方及び業者が設定できる料金について伺う。

答 利用料金制では、使用料は全額指定管理者の収入になる。施設管理に必要な経費に対し、過去3年間の使用料の平均収入を差し引いた額を市から指定管理者に委託料として、支払うことになる。また、料金の設定については、現在条例で定めている金額の100分の50から100分の150までの範囲で、市と協議した上で設定できる。

問 もみじ谷大吊橋のように、委託料を上回る使用料収入がある施設の使用料について伺う。

答 3カ年平均の使用料から、市で設計した委託料を差し引いた差額を、市に納めていただく。さらにそれを上回る収入があった場合は、別途協議することになる。

※施設の使用料を指定管理者の収入に出来る制度。効果的・効率的な管理および市民サービスの向上が見込まれる施設に導入されている。

新しい部局ができます

問 新設の局の幹部職員について伺う。

答 局長は、部長級という形になり、現時点では庁議、調整会議、議会の対応を行うもの考えている。



もみじ谷大吊橋

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
【委員】◎齊藤誠之○中里康寛、益子丈弘、田村正宏、松田寛人、眞壁俊郎、高久好一、相馬義一、山本はるひ

日々発生する教育現場での問題等に対応するため、教育委員会委員の定数が5人へ増員されます

問 「現定数を5人とする」という条例であるが、5人以下も認める内容にするという議論はなされなかったのか伺う。

答 議論がなかったわけではないが、5人は必要であるという考えであるため、今回は「5人以下」を認める条文にはしていない。

市内図書館の管理運営体制が決まりました

問 西那須野図書館と塩原図書館の指定管理制度の内容について、施設の管理は市が行うのか伺う。

答 エレベーターの管理など、業務の内容によっては外注もあり得るが、指定管理料に経費は含まれているので、指定管理者がすべての管理を行う。

問 市内図書館の管理運営者について、西那須野図書館と塩原図書館は指定管理者制度で管理し、新しくできる那須塩原市図書館は市が管理する体制であるが、その3館の関係性を伺う。

答 市の直営で運営する那須塩原市図書館「みるる」

が3つの図書館を一つにまとめる役割を担い、業務上の連携を密にとる。

文化財を将来にわたり保護するために、那須塩原市歴史文化基本構想が策定されます

問 本構想を策定することによって期待される効果の検証方法は考えているのか伺う

答 この基本構想を策定した後に、市民アンケートを実施する予定になっている。そのアンケートの結果で、地域の歴史や文化財に対し、市民がどんな感想や認識を持ったかといったことを検証していきたい。



建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
【委員】◎星宏子○山形紀弘、小島耕一、森本彰伸、相馬剛、鈴木伸彦、玉野宏、吉成伸一

那須塩原市で食育、地産地消の計画が進みます

問 今後、食育・地産地消推進会議を設置し計画を推進していくとのことだが、市独自の推進月間や食育月間を設けて事業に取り組む考えはあるのか。

答 当面は、計画どおり、国・県の推進月間にあわせて市の事業を実行していきたい。市独自の推進月間については、次期計画策定時に検討する。

食育、地産地消の計画について議員間討議と討論が行われました

議員間討議※1

意見A 食育を強力に推進するためには、市独自に食育推進期間を設定し、事業に取り組むべきである。

意見B 食育推進の機運が高まっていない現時点では、市独自の取り組みは時期尚早である。まずは、この計画に沿って事業を行い、今後、計画を見直す中で、市独自の推進期間を設けるほうが望ましい。

討論※2

国の食育月間、県の食育月間の中で、事業を行い、食育について、市民意識の向上を図っていく。農業関連グループなどの支援や、今後、各部局において積極的に取り組んでいただくことをお願いして、この計画については賛成としたい。

※1 市政に関する重要な課題などについて、議員間での討議を活発に行うことにより論点を明確にし、更に議論を深めることにより、意見を集約し政策提案を行うこと。

※2 議題となっている案件について、表決をする前に、議員個人として賛成・反対の意見を表示すること。



予算常任委員会

【委員】◎佐藤一則 ○齊藤誠之 ○星宏子、その他全議員

問 育児休業者及び病気休業者の復職に伴う給与費の補正予算であるが、休業した職員の支給される給与について伺う。

答 同一の病名で90日間病気休暇が取得でき、それを超えると休業扱いになる。給与は、休業1年目が80%、2年目以降は給与はなくなるが、共済から別途手当が支給される。

問 保育給付費について、大きな補正金額だが、この背景には幼児教育・保育の無償化が関係しているのか。

答 無償化の関係もあるが、昨年度も2億5,800万円と大きな金額を補正した。担当課においても出来るだけ見込んで算出しているのだが、児童数の増加や公定価格の上昇が主な理由である。

問 東京オリパラの事前キャンプ地誘致事業費について、イベント会場運営業務委託などについて伺う。

答 ミニセレブレーション運営ということで会場の設営業務に289万8,500円、警備業務委託に27万

5,000円を見込んでいる。

問 市営住宅整備事業の外壁改修工事で、1,937万7,000円の減となっている。アスベストが検出されたため、今年度は工事を取りやめて来年度実施することのことだが、来年度の補助率の見込みを伺う。

答 アスベストを安全に取り除くため、来年度の国庫補助対象事業として要望している。来年度の補助率は未定だが、今年度は要望に対して65%であった。

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第 84号	令和元年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第 85号	令和元年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 86号	令和元年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 87号	令和元年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 88号	令和元年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 89号	令和元年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 90号	令和元年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 91号	令和元年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 92号	令和元年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 93号	那須塩原市教育委員会委員定数条例の制定について	可決
議案第 94号	那須塩原市部設置条例の一部改正について	可決
議案第 95号	那須塩原市住民基本台帳カード利用条例の一部改正について	可決
議案第 96号	那須塩原市都市計画税条例の一部改正について	可決
議案第 97号	那須塩原市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備について	可決
議案第 98号	那須塩原市水道事業給水条例の一部改正について	可決
議案第 99号	那須塩原市営駐車場条例の一部改正について	可決
議案第 100号	那須塩原市営自転車駐車場条例の一部改正について	可決
議案第 101号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第 102号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第 103号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第 104号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第 105号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第 106号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議案第 107号	那須塩原市食育・地産地消推進計画について	可決
議案第 108号	那須塩原市歴史文化基本構想について	可決
議案第 109号	市道路線の認定及び廃止について	可決
発議第 15号	議員の派遣について	可決



佐藤 一則議員



子育て環境の充実に向けた取組は

問待機児童（入園待ち児童）の解消について現状と課題について伺う。

答市長 2015年4月に19人いた待機児童は、2019年4月に5人となった。一方、入園待ち児童は同期比で50人から85人に増加している。0～2歳児の定員枠の拡大を図ることが課題と認識している。

問0～2歳児の定員をどのように拡大するのか。

答子ども未来部長 現在市内に7カ所ある地域型保育事業所数を増やしたい。また、認定こども園、私立保育園などに、0～2歳児の定員拡大をお願いしていきたい。

問児童虐待防止の現状、課題と今後の対策は。

答市長 乳児家庭全戸訪問や乳幼児健康検査での観察、保育園などにおけるモニタリングを通じて養育支援や相談支援を行っている。課題は虐待相談が平成29年度の91件から30年度は172件と倍増している。発生時の迅速な対応から虐待を受けた子どもの自立などにかかわるまで継続的な支援体制を強化し、子ども総合支援拠点の設置に向けて取り組んでいきたい。

青少年健全育成に必要なことは

問青少年の健全育成体制の整備について伺う。

答教育部長 市内関係団体と関係行政機関で組織する青少年健全育成協議会がある。また、市民組織として子ども会育成会連絡協議会などが青少年の健全育成に向け活動している。関係団体と行政が社会全体で意識を共有し、協働で取り組むことが重要であると考えている。



金子 哲也議員



男女平等・男女共同参画について

問第3次男女共同参画行動計画の中で、方針決定過程に女性職員の参画をうたっているが、議場には執行部30人のうち、女性がたった1人しかいない。市長はこの状況をどう考えるか。

答市長 女性の社会進出を促すには、数値で決めていくしかないと考えており、クオータ制を採用せざるを得ない。そのぐらいいないと既定の考えでは難しいと思う。まず最初は、数値目標を達成し、今いる23.2%の女性の幹部職員を離職させない環境づくりをしなければならない。男女共同参画を促すためには、行政だけでは限界があるため、民間と行政をつなぐ、その地域でイニシアチブを取っている民間団体がしっかり取り上げてほしい。この問題は男性の立場からしっかりと議論していく必要がある。

保育園および児童クラブに係る職員の待遇改善について

問保育士の臨時職員率が県平均より高く、近隣市町より多くなっている現状で、臨時職員の割合改善と賃金面の改善ができないか。また、放課後児童クラブでは、責任ある立場の人が、賃金が安いと辞めていると聞いているが、改善できないのか。

答子ども未来部長 保育士の臨時職員の割合は60%になっている。また、公設児童クラブ支援員の賃金面の処遇は、NPO法人が決定するもので、経験年数に応じて決定している。





中里 康寛議員



所有者不明土地問題について

問所有者不明土地問題を本市はどのように受けとめているのか。

答市長 板室地区を中心に共有地の問題がある。実質的に所有者不明であり、非常に大きな問題であると受けとめている。

問今後、空き家等と同様に課題として位置づけ、先進的に対策を講じてみてはどうか。

答市長 所有者不明土地では売買や相続で困っているという声もあるので、情報収集に努めていきたい。国で所有者不明土地利用の円滑化に関する特別措置法を制定したので、国と連携し、市は積極的に情報提供していきたい。

那須塩原市の魅力を創出する企業立地について

問現在の誘致活動について、民間の手を借り、成約に結びつける方法として、例えば、民間から企業を紹介してもらい、同時に商談にも立ち会い、成約に結びついたら報奨金を与えるなど、官民一体となった取り組みをしてみてもどうか。

答市長 現在、金融機関との合同企業訪問など、民間と連携した企業誘致活動を実施しているが、早期に優良な企業を誘致するため、報奨金についても早急に検討していきたいと考えている。

問専門機関委託によるアンケート調査の内容と結果の状況は。

答産業観光部長 一般財団法人日本立地センターという自治体の企業誘致などの支援を行っている団体でアンケート調査を行った。回答数が1,895通のうち、本市に魅力を感じているといった回答をしてくれた企業は22社という結果であった。



山形 紀弘議員



本市の防災・災害対策について

問台風19号における情報伝達に課題はなかったのか。

答総務部長 自主避難所開設情報を、みるメールおよびホームページで発信し、その後、ダム放流などの情報をみるメールなどで発信をした。市ホームページへのアクセス数の増加が見込まれたことから、災害用ホームページに切りかえる対応を図った。避難勧告等の情報は、エリアメール、テレビ、ケーブルテレビ等で市民に伝達した。さらに、避難対象地区の自治会長への電話連絡、消防団への活動要請などを行った。課題は高齢者や障害者といった、情報弱者の方々に、効率的な情報伝達手段を構築することである。

問開設した7カ所の避難所での課題を伺う。

答保健福祉部長 毛布などの備蓄品に不足が生じた。避難勧告発令中に、職員の説得にもかかわらず避難者が帰宅してしまったことが挙げられる。

那須塩原駅周辺まちづくりビジョンについて

問有識者会議で意見交換会中に、東那須野地区工場跡地の意見は出なかったのか。

答市長 工場跡地についても、残念であるというコメントは頂いた。また市民の声や市政懇談会でも同様の声を頂いている。

問那須塩原駅周辺は、県北の玄関口、広域的な拠点という形で捉えているのか。

答市長 県北20万人、30万人構想といった話があり、当然地理的な要件とすると、那須塩原駅が県北の中心になることは間違いのないと思う。



田村 正宏議員



気候変動を見据えたまちづくりについて

問ESG（環境・社会・ガバナンス）やSDGsの発想に立ったグリーンボンドなどによる資金調達を実施する考えは。

答市長 環境政策を進めるにあたり、グリーンボンドや特定の自治体事業に対して資金を募るガバメント型のクラウドファンディングによる資金調達は積極的に活用していきたいと考えている。

問気候変動適応計画と気候変動適応センターは市単独ではなく、冠那須野が原にして周辺の市町と共同で策定および設置をする考えは。

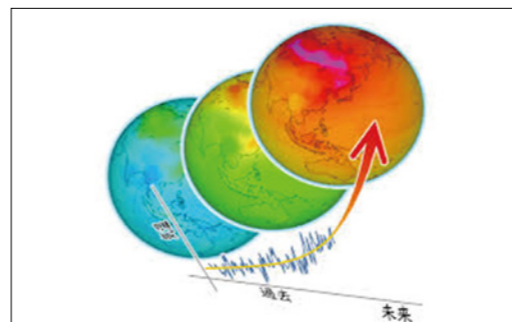
答市長 那須野が原全体がサステナブルな地域であることをPRする意味でも悪くない話だと考える。

問今後、太陽光発電の固定価格買取制度が、順次期間満了を迎えるにあたり、蓄電池に対する助成制度を復活する考えは。

答市長 蓄電池の普及に関しては蓄電池を搭載した自動車の普及などと合わせて考えていきたい。

問ハザードマップ上の土砂災害警戒区域や家屋倒壊の危険性のある区域に居住している人は、人道的な観点から危険が想定されるときだけでも、立地適正化計画に定められた居住誘導区域内の空き家などに移ってもらう考えは。

答市長 全国的に毎年莫大な予算が災害の復旧・復興に充てられる時代において、安全な地域に居住誘導することは、今後のまちづくりにおいて重要な視点と考える。



山本 はるひ議員



わくわく感ある移住・定住促進事業の展開を

問移住・定住事業の課題について伺う。

答市長 移住・定住促進はあくまでもツールで、まちづくりとセットである。中身が詰まっていないうのに移住・定住の支援をするといっても、肝心的那須塩原に住みたいというわくわく感がないと難しいと思う。那須塩原で暮らす、楽しむというコンテンツを作ることが、大切である。

那須塩原市図書館は市と業務委託で運営

問市直営による運営内容とメリットを伺う。

答市長 市職員は4人程度で、窓口業務、図書選定支援、読み聞かせやイベント、施設の維持管理などは業務委託で行う予定である。運営については、ユニークな外観をしているので、それに見合った内容にしていきたい。

答教育部長 業務委託は20人程度で、運営業務と施設の管理業務は分けて委託していきたい。直営のメリットは今までにない図書館であるということ、まずは直営で進めていきたいと考える。

問まちなか交流センター「くるる」と図書館「みるる」の連携について伺う。

答市長 にぎわいの創出と人々の交流の活性化という目的を共有しているので、相乗効果が発揮できるように連携していく。

問図書館利用のルールについて伺う。

答市長 おしゃべりを禁止しない、飲食を可能とする、館内撮影を許可するなどを用意している。マナーブックを利用者に配布し、併せて職員が声掛けをして周知していきたい。



完成が近い図書館の内部



相馬 剛議員



平和教育について

問 平和教育は、平和主義を掲げる憲法と平和で民主的な国家及び国民の育成を目的とする教育基本法の下行われている。戦後74年経過し、戦争と平和に対する意識が希薄になっている。平和教育の実践と広島平和記念式典に児童生徒を派遣する考えはあるか。

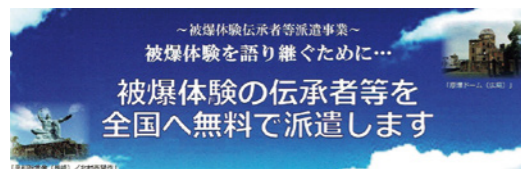
答 教育長 本市の平和教育は、児童生徒の発達段階に応じて、社会科、道徳科、特別活動などで行っている。戦争の実態を学ぶだけでなく、今後の社会をどうしていくか考えることが重要である。広島平和記念式典に児童生徒を派遣する予定はないが、被爆伝承者などの派遣事業の実践については検討していく。

那須塩原市戦没者追悼式について

問 戦没者追悼式は戦没者の安らかな冥福を祈り、恒久平和を祈念するため、遺族連合会と市の共催で行われている。式典のあり方と今後の方向性は。

答 市長 今年の追悼式の参列者は99人で、参列者を増やすことと式典内容の充実は重要であり、今後遺族連合会と対策を協議する。

答 保健福祉部長 今は共催だが、遺族が高齢化し、会員が減っている状況から、市が主体的に行うことが必要である。市側の参列者も市長だけでなく、多くの職員にお願いするなど、目標に近づくよう努力する。



星 宏子議員



軟骨伝導補聴器の補助について

問 軽中等度難聴児の軟骨伝導補聴器購入の補助について伺う。

答 保健福祉部長 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成の内容は栃木県の補助制度で、県が3分の1、市が3分の1で利用者が3分の1を出すものである。対象品目は県が決めているので、これが対象になるかを県に確認する。

災害に強いまちづくりのために

問 内水ハザードマップと河川ハザードマップを作成する考えは。

答 総務部長 中小河川のハザードマップは水防法の規定により、河川の管理者が浸水想定区域を定めた上で市町村がハザードマップを定める仕組みになっている。

問 防災行政無線を整備・更新する予定と、防災ラジオを導入する考えは。

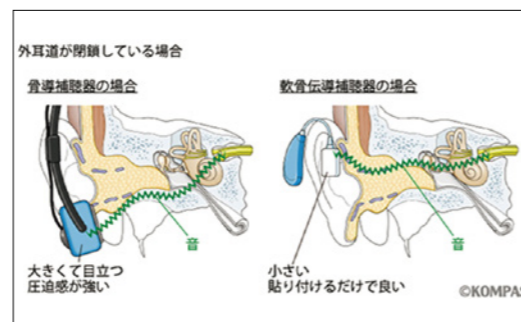
答 総務部長 防災情報伝達機器の整備について、基本構想を策定している。防災行政無線や戸別受信機、防災ラジオを含め、本市に適した機器の選定を行い、来年度詳細を設計し、令和3年度に導入したい。

問 自主防災組織による防災計画作成を支援する考えは。

答 総務部長 自主防災組織による地区防災計画は国や県でも推奨しているので、支援していく。

問 災害時の子どものための心理応急措置(PFA)の導入する考えは。

答 総務部長 子どもの心のケアは重要なものと考えており、導入については今後検討していく。



小島 耕一議員



障害者の雇用・就労の促進と農福連携の推進について

問 農福連携に取り組んでいる事業所は市内に何カ所あり、何を生産しているのか。

答 保健福祉部長 市内には7事業所あり、トマト、キュウリ、レタスなどの野菜、シイタケ、キクラゲなどを生産している。

問 国では7月に農福連携ビジョンを公表した。市としては今後どのように対応していくのか。

答 産業観光部長 まずは認知度を高めるため、既存制度を積極的に活用し、農業者への周知、福祉事業所への支援に取り組んでいく。

問 本市における補助事業導入の動きは。

答 産業観光部長 1事業所から補助事業を導入したいとの要望がある。内容は、農産物の加工所や障害者と農業者をマッチングさせる人材派遣で、今後補助事業が導入できるよう取り組んでいく。

結婚対策について

問 縁結び事業の現状と成果は。

答 企画部長 登録者は男性87人、女性36人である。成婚カップルは、今月、1組に結婚の報告があり、2組となった。

問 とちぎ結婚支援センターは県内に3カ所ある。宇都宮市、小山市では土日に開いているが、本市では土日は閉めている。来場者から土日に開けてほしいとの要望はないのか。

答 市長 土日に開所できる場所で、来場者が気軽に相談できる必要がある。今後、研究の余地は大いにあると考えている。



齋藤 寿一議員



令和2年度当初予算編成方針

問 令和2年度当初予算編成方針の考え方は。

答 市長 厳しい財政状況の中、安定的な市民サービスの提供や活力あるまちづくりを行うため、聖域なく全ての経費の見直しを行うことで、財源を生み出し、市に必要な事業に配分していきたい。

問 行政組織機構の一部見直しで、新設する気候変動対策局の取り組みは。

答 市長 温暖化や気候変動といった地球規模の課題を地域レベルで考えて、その対策に取り組むための組織である。

スポーツコンベンションの誘致などの核となる組織づくりについて

問 観光を初めとする各種団体との連携により、スポーツコンベンションの誘致などの核となる組織づくりを行い、誘致活動の窓口として立ち上げてはどうか。

答 教育部長 2022年に開催する国民体育大会および全国障害者スポーツ大会に向け、今年度市実行委員会を立ち上げ、両大会の円滑な運営のための準備を進めているところである。市の実行委員会は、市内外の多岐にわたる団体で組織している。今後、両大会を通じて得た知識や経験をもとに、この組織を生かしたスポーツコンベンションについて研究していきたい。



森本 彰伸議員



小中学校の防犯体制について

問 防犯カメラを整備する場合、最近はウェブカメラが主流になってきている。クラウド上に記録することで、比較的安価に多数のカメラを設置できるシステムだが、小中学校で導入する考えは。

答 教育部長 市内30の小中学校全校にウェブカメラを整備するとなると、敷地も広く、どの程度整備すれば良いのか、また、整備費がどのくらいかかるのかなどの課題がある。ウェブカメラの整備については、今後研究していきたい。

新庁舎建設後の西那須野支所の活用について

問 産業観光建設課のような地域の人が相談に行ける窓口は残すのか。

答 企画部長 窓口が残るかということは、答えられないが、連絡がスムーズにとれる方法は今後検討していく。

問 西那須野支所の周辺は、小中学校や高校も近くにある。子どもたちの居場所として、例えば電車が来るまでの間の過ごす場所や、文化活動を行う場所として、西那須野支所を夢のある活用ができないか。

答 市長 個人的な見解だが、今、那須塩原駅前ビジョンの有識者会議で那須高原を感じられる建物と言った話をしている。西那須野支所は趣のある、ユニークなデザインをしているので、子どもにも親しまれるのではないかと考えている。現段階ではまだ西那須野支所をどうするかという議論はしていないが、今後もさまざまな提言をいただければと考えている。



玉野 宏議員



気候変動対策局の新設とCO2ゼロ宣言について

問 気候変動対策局の役割と展望をどのように考えているか。

答 市長 先人が築いてきたこのふるさとを次の世代に引き継いでいくことは、我々の責務であると考える。気候変動対策局では、開設予定の地域気候変動適応センターの運営や現在作成中の那須塩原市気候変動適応計画に基づく関係事業を進めていく。

問 各分野の専門家を集め、市民への理解、協力、取り組みをアピールするため、シンポジウムを開く予定は。

答 市長 気候変動適応に関する取り組みを進めるには、市民や事業者などの理解や協力が必要である。市の取り組みを対外的にアピールすることも重要であり、シンポジウムを開催する予定である。

問 小水力発電電力の活用は、持続可能な都市づくりのモデルになると思うが、市の考えは。

答 市長 那須疏水などを活用した小水力発電が行われている。再生可能エネルギーに起因する電力の活用は、持続可能な都市づくりにおいて重要であり、今後活用を検討していく。

問 那須塩原市でCO2ゼロ宣言をしてはどうか。

答 市長 現在CO2ゼロ宣言は、東京都や横浜市などで宣言されている。那須塩原駅周辺まちづくりビジョン有識者会議において、専門家からの意見がある。この気候変動適応センターとともに、市民が問題意識を理解する非常に良い契機になると思うため、早急に宣言をしたいと考えている。



櫻田 貴久議員



観光行政について

問 たび重なる台風被害における本市の観光業に対する支援は。

答 市長 観光庁において、旅館等の宿泊料金の一部を支援する令和元年台風15号及び19号観光支援事業費補助金を有効に活用できるよう、宿泊業者へ情報提供や効果的な集客対策の支援をしていきたい。

問 今後も予想される災害に対し、観光業をどのように支援するのか伺う。

答 産業観光部長 災害後、観光客の減少回復を図るため、メディア、旅行会社、旅行者へ正確な最新情報を発信するための体制を整える支援と、収益減に対する資金繰りの支援策の情報を入手し、観光事業者へ提供していきたい。

問 気候変動に対応していくため、観光事業者に安心を与える政策を考えているか。

答 市長 一番恐ろしいのは書き入れ時の災害である。サステナブルな観点からも、閑散期と繁忙期の差を縮め、季節に頼らない事業として、まちづくりと連動した美食ツーリズムや温泉の強みを活かしたヘルスツーリズムなど、気候変動のリスクに応じた観光政策を考える必要がある。

スポーツでまちおこし

問 大規模スポーツイベントの効果は。

答 教育部長 大規模なスポーツイベントを開催することは、市民にスポーツを「する」「観る」「支える」といった機会を提供できる。さらに交流人口が見込まれ、本市のスポーツ振興とともに地域経済の活性化につながるものと認識している。



星野 健二議員



環境対策について

問 プラスチックごみ削減に係るこれまでの本市の取り組みは。

答 市長 大田原市、那須町との2市1町体制で那須地区レジ袋削減推進協議会を結成し、関係機関と連携を図りながらレジ袋削減を実施している。

問 プラスチックごみによる海洋汚染と生態系への影響を市民や事業者にどのように周知、啓発して取り組むのか。

答 市長 プラスチック製レジ袋の有料化が義務づけられることにより、国や県で作成する周知、啓発のツールを有効に活用していきたい。

問 栃木県と県内25市町が共同で「プラごみゼロ宣言」を行ったが今後の取り組みは。

答 市長 10月に取り組みの一つとして生分解性ストローの実証実験をおこなった。この実証結果を踏まえ、気候変動やSDGsを意識した先進的な取り組みを検討していきたい。

小中学校の防火シャッターの安全対策について

問 建築基準法の一部改正で、点検により不備が明らかになった防火シャッターの対応は。

答 教育部長 法改正により安全装置の設置が義務づけられた。法改正前に整備した21校103カ所の防火シャッターは、今後計画的に整備を進めていく。





大野 恭男議員



高齢者福祉事業の現状と課題、今後の展望は。

問 施設整備の進捗状況を伺う。

答 市長 認知症対応型居宅介護1施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1施設、看護小規模多機能型居宅介護1施設の整備が進められており3施設全てが令和2年4月に開所予定である。

問 既存の介護施設の空き部屋の有効利用を検討してはどうか。

答 保健福祉部長 新規整備と違い整備期間も非常に短期間で済み建築費も安く済む利点もありメリットがあること認識している。第8期高齢者福祉計画を作成するときにアンケート調査を実施し、高齢者の意見や介護事業者の意向を聞き、総合的に検討していきたい。

問 買い物支援・通院支援について

答 保健福祉部長 自治会等の住民主体で要介護者の生活支援をした場合、補助金が出せるメニューがある。これを活用して買い物・通院支援が出来ないか検討中である。

問 在宅介護の状況やその家族に対する支援の状況と今後の支援策は。

答 市長 平成28年度に実施した市の在宅介護実態調査によると、50歳以上の家族が在宅介護をしている割合が80.5%と高くそのうち3人に1人が70歳以上という状況である。家族に対する支援状況は介護サービスの提供や相談による身体的、心理的負担の軽減や紙おむつ助成サービスなどによる経済的負担の軽減の支援を行っている。今後の支援策は、支援者に対する支援という意見も出てくると思うので、自治体としても考えていく必要性を感じている。



高久 好一議員



いじめ問題について

問 県教育委員会が2018年度の小中学校および高校でのいじめを過去最多の4,845件と公表したが、市の現状と課題は。

答 教育長 本市の認知件数はその年により増減はあるが、全体として増加傾向にある。課題としては、法に基づくいじめの正確な認知と適切な対応、組織的な対応がある。

問 全国では、学校の判断と実態が大きくかけ離れ、悲劇的な結末を迎える事案が報道されている。本市は、いじめ発生防止のためどのように取り組んでいるか。

答 教育長 市の2018年度いじめ解消率は約54%で県の数字より低くなっている。これは、いじめ解消の定義に基づく目安の3カ月間、市がいじめ対策の取り組みとして、経過を観察しながら慎重に対応していることが要因と考えられる。

問 いじめの問題を扱っている弁護士からは、今までがきちんと対応できていなかっただけだという厳しい声があるが、どう受け止めているか。

答 教育長 この問題については、刻々状況が変わり、背景も複雑になったりするので、1件1件、きちんと受け止めて必要な対応をしていきたい。

高齢ドライバー対策

問 本市の運転免許自主返納支援事業の有効期限は1年だが、延長、拡充する考えはあるか。

答 市長 高齢者による事故が全国的に増えており、今後も増えることが見込まれていることから、大きな課題と認識している。



齊藤 誠之議員



本市の財政運営について

問 令和2年度に財源の確保に向けて取り組む施策は。

答 市長 財源の確保については、ふるさと納税を活用した資金調達、新たにガバメントクラウドファンディング、グリーンボンド、ネーミングライツ導入のほか、未利用市有財産の売却や貸し付けなど、積極的な利活用を検討しているところである。

問 財源確保のため、ガバメントクラウドファンディングやネーミングライツなどはどこまで進んでいるのか。

答 市長 来年度4月から未利用地の売却、貸し付けの調査が終わり、約108筆、10万6,000㎡ほど、4月から処分する予定である。また、クラウドファンディングについては、具体的な実際に協議を行っており、ネーミングライツについては、案が固まってきた段階であり、最終的な詰めを行っている。

問 市にお金を寄附してくれる市民や企業があるが、市が受け皿をつくり、基金に関する積み立て、あるいは基金を利用した施策づくりを考えているか。

答 市長 ふるさと納税の制度の中に、基金という発想を入れ込み、項目ごとに分類し、絞り込みをした事業を那須塩原市で進めるものに対して、寄附者が寄附しようとする明確にわかるような形で仕組み替えができないかを現在、検討を進めている。



益子 丈弘議員



農業における特産品のへの支援について

問 那須塩原ブランドの認定制度の現状と課題は。

答 市長 那須塩原ブランド認定制度は、地域産業の活性化に向けた取り組みの一つとして、市内で生産、加工された特産品などを、独自の認定基準に基づき審査し、クリアしたものを那須塩原ブランドに認定し現在、23品目である。課題はブランドの認知度が十分ではない状況であり、ブランド力の強化を有識者から指導などを受ける取り組みを行っている。今後、PRに取り組んでいきたい。

問 ブランド創出という点からJAなどの関係団体との連携する考えはあるか。

答 産業観光部長 今後、JAなどと連携し、ブランド品にふさわしい農産物を増やしていきたい。

新学習指導要領について

問 新学習指導要領による教育現場の変化は。

答 教育長 教師が一方向的に教え込む暗記、再生型の授業から、児童生徒がみずから学び、ともに学ぶ思考、発信型の授業への転換が求められている。本市においては、既に新学習指導要領を先取りした「なすしおばら学び創造プロジェクト」を行っている。

問 学校現場からの要望、提案などはあったのか。

答 教育長 なすしおばら学び創造プロジェクトは全く新しい取り組みであり、教育委員会も積極的に授業づくりに関わってきた。各学校にいるALTとZOOMというアプリを使い同時に映像でつなぎ、5カ所で同時に中学校の英語の授業を展開したいなどの積極的な提案もあり、今後の創意工夫が大いに期待される。



●各委員会では、所管する事務に関する審査や調査のため、他の自治体の先進的な取り組みなどについて所管事務調査を行っています。

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
【委員】◎佐藤一則○星野健二、平山武、大野恭男、櫻田貴久、伊藤豊美、齋藤寿一、金子哲也、中村芳隆

福岡県大牟田市、熊本県山鹿市、福岡県久留米市、筑後市へ行政視察を行った。

大牟田市では、地域の課題解決や市民ニーズに応えるため、小学校区内に自治会をはじめ、さまざまな団体を構成団体として協議会をつくり、コミュニティの活性化と自治会加入率の増加を目指している。

山鹿市では、アプリによって市民が知りたい情報提供や市内のさまざまな団体から情報発信が行われ、まちづくり、ひとづくりの総合プラットフォームとして「やまがメイト」が活用されている。

久留米市では、ふるさと大使やイメージキャラクターの活用、若手職員によるプロジェクト活動などインパクトのある情報発信で市のブランドイメージの向上や地域の活性化に取り組んでいる。また、市のイメージを高め、暮らしやすさをPRし、移住の候補地として選ばれるためのシティプロモーションの取り組みを視察した。

筑後市は、ホームページやガイドブックの配布、駅貼りポスターなど、さまざまな媒体を活用しながら、市の魅力や定住促進メニューを発信している。

特に、新婚世帯や子育て世帯への支援を行うことで定住促進を図っている。

今回、視察をしてきた各自治体の取り組みを参考にしたい。



山鹿市庁舎前

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
【委員】◎齊藤誠之○中里康寛、益子文弘、田村正宏、松田寛人、眞壁俊郎、高久好一、相馬義一、山本はるひ

三重県いなべ市、兵庫県明石市、兵庫県神戸市、大阪府門真市で行政視察を行った。

まずICT教育について、いなべ市を視察した。2013年に市内小学校(1校)を研究指定校とし、教室に電子黒板やタブレット端末を設置し研究を行った。その結果、ICTが子どもの学習意欲を高め、学習内容の理解を深めるツールとして効果があることを確認した。

次に不登校対策について、明石市を視察した。平成20年4月より不登校の予兆への気づきや初期対応の充実を図るとともに、再登校を支援するシステム「A-TASS」を導入している。「A-TASS」を導入したことで、教職員が児童生徒の欠席に敏感になった、管理職が中心の不登校対策が前進したなどの効果が現れている。

続いてICTを活用した健康寿命延伸の取り組みについて、神戸市を視察した。神戸市は、スマートフォン向けアプリを理化学研究所と共同開発し、市民が自らの健康状態を「見える化」している。ICTを活用する目的は、市民にきめ細かい健康施

策を立案するため、独自でデータを収集し、市民のビッグデータをつくることである。

最後に子どもの未来応援ネットワーク事業について、門真市を視察した。門真市では2016年に子どもの生活に関する実態調査を実施した結果、子どもの貧困対策が急務と位置付けた。貧困の原因でもある親から子への貧困の連鎖を断ち切るために、子どもの見守りをはじめ、こども食堂、宿題カフェなどの取り組みを行政と市民が連携して行っている。



明石市議会議場

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
【委員】◎星宏子○山形紀弘、小島耕一、森本彰伸、相馬剛、鈴木伸彦、玉野宏、吉成伸一

鹿児島県大崎町、宮崎県都城市、鹿児島県霧島市において行政視察を行った。

大崎町では、市と市民が一体となり資源循環型のまちづくりを推進した結果、12年連続資源リサイクル率日本一を達成した。また、「大崎リサイクルシステム」として、インドネシアにもその取り組みが広がっている。

都城市では農林畜産品の6次産業化の取り組みと中心市街地中核施設「Mall mall」(まるまる)を視察した。平成25年に6次産業化推進実施計画を策定し、地産地消・農商工連携の取り組みを地域一丸となって推進し、加工商品の全国展開を図っている。「Mall mall」は百貨店の建物をリノベーションした図書館で、来場者数は年間120万人と日本一を誇っている。本市のまちなか交流センター「くるる」、建設中の那須塩原市図書館「みるる」においても、市民の交流が広がる取り組みとして、とても参考になった。

霧島市には鹿児島空港があり、宮崎港、志布志港、川内港から高速道路で約100分の距離に位置する。

さらに、市内に5つのインターチェンジや、18haある造成済み工業団地を有し、霧島連山の豊富な自然から水と電力の確保ができる条件が整っている。さらに「企業誘致交流会」を開催し、企業、経済団体、学校などと情報交換の場を作っている。

今回、視察をしてきた各自治体の取り組みを今後参考にしたい。



都城市立図書館

議会モニターを募集します!!

那須塩原市議会では、市民の皆さんから議会運営について、ご提言などをいただき、分かりやすく開かれた議会運営を進めていくため、議会モニターを募集します。

応募資格

- 市内に在住、在勤又は、在学する18歳以上の方
- 議会運営に関心のある方
- 議員、過去に議員であった方や公務員(行政委員含む)でないこと。

募集人数 20名

委嘱期間

令和2年5月1日から
令和3年4月30日迄

活動内容

- 市議会の会議等を傍聴し、意見、提案等を提出。
- モニター会議(市議会の議員と意見交換)に出席をしていただくこと。
- 議会の主催する研修等への参加(任意)

○議会モニター応募用紙

に必要事項を記入の上、令和2年3月31日迄に下記議会事務局にメール、FAX、郵送または持参にてお申し込みください。

応募・問い合わせ先

那須塩原市議会事務局

住所:〒325-8501

那須塩原市共栄社108番地2

電話:0287-62-7181 / FAX 0287-62-5378

Future

～わたしの夢～ No.10

大山小学校 6年

いしかわ

ゆうと

石川 悠斗さん

最後までやり通せる大人になりたい

那須塩原市は自然が豊かで駅伝が盛んなまちと感じています。駅伝を始めたきっかけは、校内のマラソン大会で上位に入賞したことです。その後、母の勧めで駅伝部に入りました。うれしかったことは、市内の駅伝大会で区間賞をとったこと、それから“みるひいず”の選抜チームに入って優勝したことです。大変だと思うことは、1位でタスキをもらって、順位を落とさず次につなぐことです。ライバルは、同じ学年の男の子です。いつも応援してくれる両親や先生へ、ありがとうと伝えたいです。1年生から5年生へは、今やっている練習は正しいことだから、一つ一つ積み重ねて行けば何でもできるようになると伝えたいです。中学校へ入学しても駅伝は続けていきたいです。



駅伝を始めたことで精神的にとっても強い子になりました。代表委員になり、いじめ防止やあいさつの活性化を呼びかけるなど、積極的に活動しています。これからの活躍がとても楽しみです。（福田理恵先生談）

議会暦

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29
		高校生との意見交換会	高校生との意見交換会		本会議 開会	
3/1	2	3	4	5	6	7
		本会議 総務代表質問・一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 一般質問・議案質疑		常任委員会	常任委員会	常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会					
22	23	24	25	26	27	28
	常任委員会 議員全員協議会	本会議 閉会				

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

議会モニターを募集します

那須塩原市議会では、わかりやすく開かれた議会運営を進めるため、市民の皆さんから多様な意見等をいただき、議会活動に反映させることを目的に、モニターを募集します。募集要項等の詳細については、本誌19ページまたはQRコードを読み取り、市議会ホームページをご覧ください。



編集後記

新元号「令和」となり、今年是最初の年明けとなりました。この議会だよりが皆まんのお手元に届くころには、少しずつ春の足音が近づいているのではないのでしょうか。今年「子年」ということで、新しい物事の始まる年になると考えられています。東京2020オリンピック・パラリンピックなど、本市もこれらに伴ったイベントや行事が開催されます。本市がホストタウンとしてサポートしているオーストリア・トライアスロン・ナショナルチームが出場するほか、障害馬術競技では夫婦で五輪出場を目指す廣田夫妻も頑張りますので、市民一体となって応援しましょう！今後も市民の皆様の手にとって読んでいただけるような読みやすい議会広報誌づくりは、広聴広報特別委員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。（中里康寛）